

報道関係各位

 2019年3月7日
 さくらインターネット株式会社

**さくらインターネット、
データセンターのバックボーンネットワークを強化し、対外接続1Tbps突破
～BCP/DR対策も強化し、さらなる安定性向上へ～**

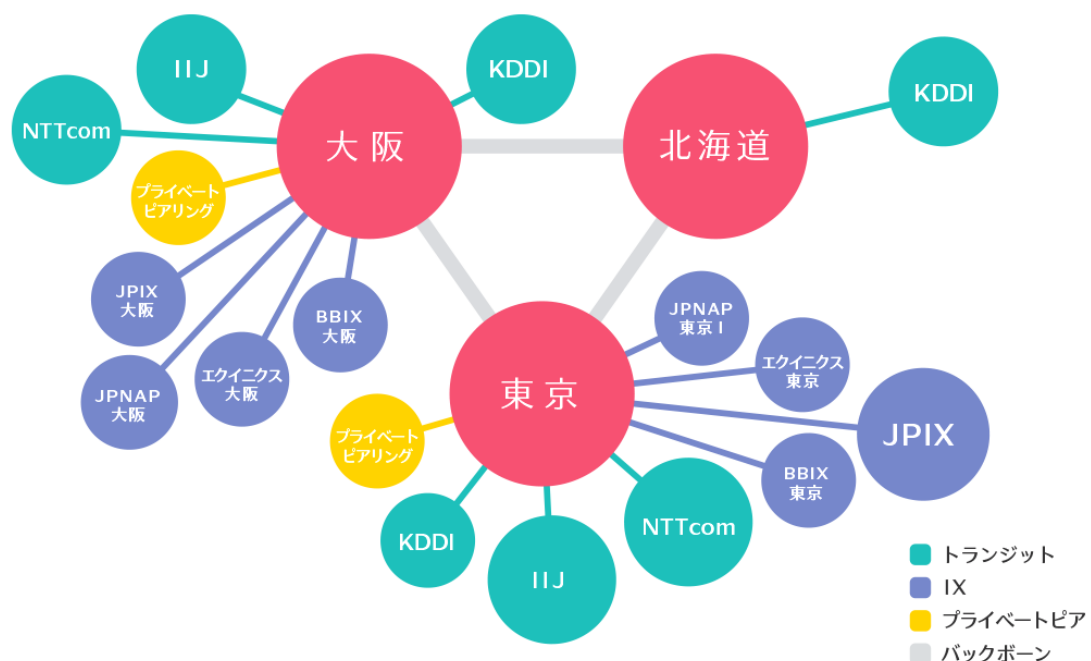
インターネットインフラサービスを提供するさくらインターネット株式会社（本社：大阪府大阪市、代表取締役社長：田中 邦裕）は、データセンターを支える基幹ネットワークであるバックボーンネットワークにおいて、対外接続の回線容量増強と、拠点間接続の新設および回線増強を実施しました。

当社は、石狩（北海道）、堂島（大阪）、東新宿・西新宿・代官山（いずれも東京）の5つの自社で運営するデータセンターにおいて、インターネットインフラサービスを提供しています。国内最大級の規模となるバックボーンネットワークは、日本国内の代表的なIXや数多くの大手ISPと北海道・大阪・東京で接続を行い、高い可用性とトラフィック配信能力を実現しています。

<対外接続を増強し、回線容量を1.14Tbpsに>

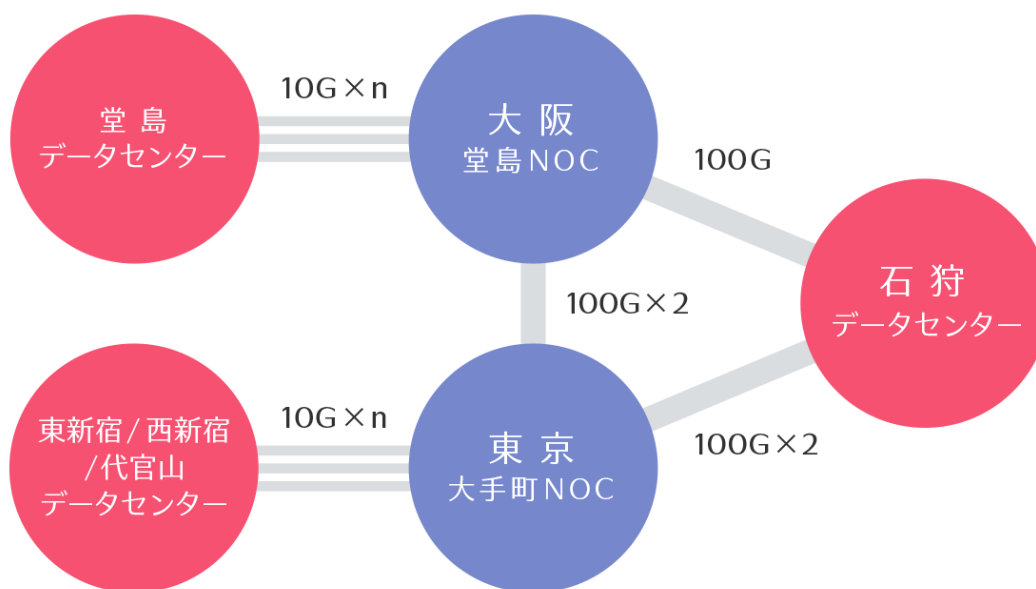
2019年2月にトランジット回線の増強を実施しました。その結果、対外接続（トランジット・IX・プライベートピア）の総回線容量が1.14Tbpsとなり、1Tbpsを突破しました。

総務省の発表^{※1}によると、国内のブロードバンドサービスのダウンロードトラフィックはこの1年で約1.2倍増加しています。また、日々規模が拡大するDDoS攻撃により回線が飽和状態になる危険性も増大しています。当社はこのような状況に鑑み、今後も継続して対外接続の増強を実施してまいります。



<拠点間接続の新設および回線増強により BCP/DR 対策強化>

2019年1月に、これまで接続のなかった大阪・石狩間を100Gbps専用線で直接接続するとともに、10Gbpsネットワーク×2本で接続していた大阪・東京間を100Gbpsネットワーク×2本に増強しました。大阪・石狩間は東京都を経由しない日本海側の経路であるため、万一の東京都を中心とした災害時にも通信が可能となり、BCP/DR対策に有効です。また東京を経由せず大阪・石狩間で直接接続することにより、レイテンシの減少を実現しました。



当社は、今後も継続してバックボーンネットワークの強化に努め、お客さまがより安心して利用できる高品質でコストパフォーマンスに優れたインターネットインフラサービスの提供に尽力してまいります。

■当社のバックボーンネットワークについて

https://www.sakura.ad.jp/services/datacenter/networkfacility/backbone_map.html

※1 我が国のインターネットにおけるトラフィックの集計・試算（総務省）

http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01kiban04_02000148.html

※プレスリリースに掲載されている内容は発表時点の情報です。その後、予告せず変更となる場合があります。

■さくらインターネット株式会社について

本 社：大阪府大阪市北区大深町4番20号

設 立：1996年12月23日

従業員：471名

資本金：22億5,692万円

売上高：170億3,337万円（平成30年3月期）

URL：<https://www.sakura.ad.jp/corporate/>

■この件に関する報道関係者からのお問い合わせ先

さくらインターネット株式会社 広報担当

TEL：03-5332-7070 E-mail：press-ml@sakura.ad.jp